



学内でできるボランティア

はじめての

ノートテイカー養成講座

既に活動している本学の仲間と身近でできるボランティア活動に参加してみませんか。

ノートテイカー=筆記通訳

聴覚障害を持つ学生さんの授業支援として、授業の情報を保障する「筆記通訳」のことを言います。現在本学には、聴覚障害学生が在籍しており、この学生さんを支援してくださる方を募集しています。本学で採用しているノートテイク（パソコンノートテイク）の技術を学べる講座です。

2024.10/3 (木)
13:30~15:30

@JWU ラーニング・コモンズかえで
(百二十年館地下1階)

先着
30名

講師 人間社会学部教育学科 准教授 榎本聡

申込み JASMINE-Navi にログインして
お申込みください。

対象 全学年（全学部生・大学院生）

持ち物 PC

ログイン画面 ▶



締切 9月24日(火)

こんな風に支援を行っています

Q:どんな風に入力したいの？

A: T-TAC Caption2 という初心者でも使いやすい専用のシステムを使います。

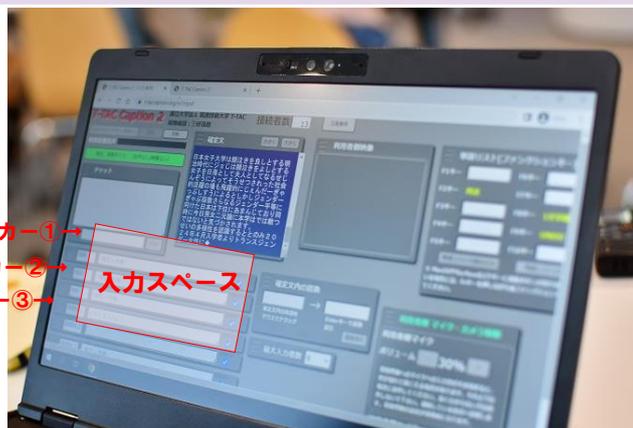
Q:タイピングが得意ではないので

先生の話聞き逃してしまいそうです。

A: 聴覚障害学生は、皆さんのノートテイクの他にも、別の支援機器・媒体を使用して、授業の内容を文字情報として取得しています。そのため、100%聞きとれず単語や短い文章でも、誤字や変換ミスがあっても大丈夫です。また、1回の授業を複数名のノートテイカーで支援する場合があります。複数名での連携の方法は養成講座で説明があります。

Q:毎週コンスタントに参加できないかもしれません。

A: ノートテイカーご自身の予定を優先してください。応募したら毎回の授業に必ず参加しなければならないということではありません。お休みする場合は、予定が分かり次第早めに連絡するようお願いしています。



T-TAC Caption 2 (開発:筑波技術大学 三好茂樹)

Q:授業のない日は大学に来ていません。

A: T-TAC Caption2 では遠隔での支援が可能です！現在活躍中のノートテイカーの皆さんも、教室で授業を聞きながら、学内の別の場所から、自宅から、など支援の場所は様々です。

養成講座に参加したからといって、必ずノートテイカーをしなくてはならないわけではありません。皆さんの教養やキャリアのためにも、ぜひご参加ください。